

令和6年度 シラバス

|  |            |            |        |
|--|------------|------------|--------|
| 科目名  | 単位数 (時間数)  | 学科・学年      | 担当者氏名  |
| 文化論  | 2単位 (60時間) | 理容科・1学年2学年 | 小野寺 貴史 |
| 学習目標   |            |            | 授業の方法  |
| ファッションは、毎日気づかないうちに生まれ消え去っています。この教科書の中からさまざまな髪型・化粧・服飾の変遷と流行を学び、風俗と時代背景のつながりを読み解くことで、時代を読みデザインを起こすことができます。また、学ぶことにより感性を高め、来るべき時代の要請に応えられるよう全体的に学び理解を深めることを目的とする。 |            |            | 講義     |
| 成績の評価方法  |            |            |        |
| 定期考査 (60点以上を合格とする)   |            |            |        |
| 教科書  |            | 副読本        |        |
| 文化論 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)  |            |            |        |

学習指導年間計画 (授業計画)

【1年時】

| 編・章                  | 項目   | 学習指導目的   | 履修時間 |
|----------------------|--|--|------|
| 第1章<br>総論            | 総論   | 理容・美容についての定義について理解した上で、現代社会との関わり、文化史の中での意義などについて学習する。  | 3h   |
| 第2章<br>日本の理容業・美容業の歴史 | <ul style="list-style-type: none"> <li>理容業、美容業の登場</li> <li>江戸時代の理容業、美容業</li> <li>近代の理容業、美容業</li> <li>現代の理容業、美容業</li> </ul> | 日本の理容業、美容業の歴史について学習する。理容師、美容師が各時代の社会と密接につながってきたことを理解させ、社会の変革に伴う髪型の重要な意味を学習することで、これから社会とどのように寄り添っていくのがよいか考えさせる。 | 9h   |
| 第3章<br>ファッション文化史日本編  | <ul style="list-style-type: none"> <li>縄文、弥生、古墳時代</li> <li>古代</li> <li>中世</li> <li>近世</li> </ul>                           | 各時代の髪型、髪飾りと装身具、化粧、服装について学習する。  | 18h  |

【2年時】

| 編・章                 | 項目  | 学習指導目的                        | 履修時間 |
|---------------------|---|-------------------------------|------|
| 第3章<br>ファッション文化史日本編 | <ul style="list-style-type: none"> <li>近代</li> <li>現代</li> </ul>  | 各時代の髪型、髪飾りと装身具、化粧、服装について学習する。 | 7h   |
| 第4章<br>ファッション文化史西洋編 | <ul style="list-style-type: none"> <li>古代エジプト</li> <li>古代ギリシア、ローマ</li> <li>古代ゲルマン</li> <li>中世ヨーロッパ</li> <li>近世</li> <li>近代</li> <li>現代</li> </ul> | 各時代のドレス、ヘア、メイクなどについて学習する。     | 20h  |
| 第5章<br>礼装の種類        | <ul style="list-style-type: none"> <li>和装の礼装</li> <li>洋装の礼装</li> </ul>  | 男性、女性の礼装について学習する。             | 3h   |